



国際ロータリー第2730地区

2008.7~2009.6

# 佐土原ロータリークラブ週報

2008~2009年度RIテーマ



会長：太田 忍      幹事：吉田康一郎  
 副会長：柳田 光寛      会報委員長：中武 幹雄  
 会計：宮内 文功  
 事務局：吉野由里子  
 宮崎市佐土原町下田島 11703-18  
 TEL：0985-62-7833 FAX：0985-62-7877  
 例会日：毎週水曜日  
 例会場：ハイビスカス ゴルフクラブ  
 TEL：0985-73-0109

11月26日(水)・・・12月3日(水)・・・「佐土原高校見学」  
 12月10日(水)・・・会員卓話  
 12月17日(水)・・・年次総会

## 本日のプログラム

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| 1. 点 鐘            | 6. 幹 事 報 告    |
| 2. ロータリーソング       | 7. 出 席 報 告    |
| 「奉仕の理想」           | 8. 委 員 会 報 告  |
| 3. 四つのテスト「濱田松太郎君」 | 9. フォーラム      |
| 4. 会長の時間          | 「ロータリー財団について」 |
| 5. ハッピーBOX披露      | 10. 点 鐘       |

佐土原ロータリー月間テーマ

## 【ロータリー財団月間】

第1049回 平成20年11月26日(水)

第1048回の記録

平成20年11月19日

## 会長の時間

太田 忍 会長

本日は1048回の例会です。  
先日の地区大会についてお話しします。

2008年~2009年度テーマ『夢をかたちに』主会場 加治木文化会館加音ホールにてホストクラブ加治木ロータリーにより開会されました。佐土原ロータリーは例年ですとバスをしていますが経費節減しようと3台の車に分乗して11名が参加されました。

本年度はRI会長代理横須賀ロータリークラブ 小沢一彦代理でした。1978年入会でロータリー歴30年だそうです。

又、元国際ロータリー会長『ピチャイ、ラタクル』（タイ王国）特別講師をお招きされていました。

それではRI会長からのメッセージを紹介いたします。

尊敬する日本のロータリーの指導者の皆さまヨーロッパからアジアへ向かう機上で、「ただ今、インド上空を飛行中です。」との機長の案内放送を聞き、この手紙をしたためております。それというのも、数週間前、中国出張の際に、機内で事務総長が渡してくれた一枚の報告書を見たことを思い出したからです。そこには、会員数世界第2位を誇る日本のロータリーが、インドに追い越されたという内容が記されていました。

私は、衝撃的なその内容を信じる事ができませんでした。ちょうどその時、私の乗っていた飛行機は富士山の上空を飛んでいました。私は誰よりも、日本のロータリーに関心を抱いております。日本のロータリアンの中には、ロータリー発祥地のアメリカに勝るとも劣らぬロータリー運営をしているとおっしゃる会員もおられました。

数年前、宮崎で開催されたRI第2730地区大会に会長代理として出席したことがあります。第2730地区は、私の亡父がRI第3660地区ガバナー（1985-86年度）在任中、姉妹地区でありました。当時、亡父と同期のガバナーがまだご存命で、臥病中にもかかわらず、亡父に対する懐かしさから、私と会って下さいました。

テーブルを前にして対座した老紳士は、次のようにおっしゃいました。「貴殿のお父上は私よりも2歳年上でしたが、寡黙な人でした。当時の日本のロータリーは韓国とともに朝日昇天の勢いで活動をしていましたが、今は一寸、気持ちが緩んでしまったような感じがします。しかし、日本人は、団結力があるから、すぐ立ち直るでしょう。日本人が「よ〜し！」と気合いを入れ、肝に銘じたら、会員増強も世界第一の実績を挙げる事ができると思いますよ」

その後、私は老紳士にお目にかかる機会がありませんでしたが、「よ〜し」と言った彼の言葉に共感し、一致団結して立ち上がる日本人に魅了されております。私は当分の間、アメリカにおいて日本を凌駕するロータリー国はないと思っていますが、しかし、亡父が称賛していた日本のロータリーが衰退の影を見せているのではないかと、不安が押し寄せてきています。

敬愛する日本のロータリーの皆さま、いかに経済が難しく、民心が変わるとしても、日本人には「よ〜し」という精神力があります。皆でともに手に手をつないで前進してまいりましょう。2008-09年度に、会員増強の新しい金字塔を立ててゆこうではありませんか。

RI会長 季 東 建



## 幹事報告

吉田 康一郎 君

※高鍋ロータリークラブ～12月プログラム予定

※ガバナー事務所～2008年12月ロータリーレート1ドル=96円

※ガバナー補佐・宮崎西RC会長～GSE歓送会の件・・・11月28日(金) 18:30～  
宮崎観光ホテルにて会費・・・¥5,000

※地区大会事務局～大会参加のお礼状・記念バナーが届きました。

※11月15日(土)加治木地区大会には10名で参加して参りました。今回は各自自家用車で移動にしましたので経費削減も出来ました。登録料の自己負担、につきましては、参加意識向上の為にも我がクラブでも通例化が望ましいと思います。

## 会員卓話

福井 輝文 君



昨年1月に亡くなられました奥様との馴れ初めから思い出、感謝の思い・・・言葉で素直に愛情表現することの大切さ等を話して頂きました。

現在は毎朝お墓参りを欠かさず日々の報告をしているとの事でした。

## ハッピーBOX披露

※荒武 義博君～誕生月ありがとうございます。

やっと「55」になりました。「ニコニコへ」

※後藤 明夫君～結婚記念月を記念して・・・

ありがとうございます。何とか続いています。

これからこそ仲良くと思っています。

「ニコニコへ」

※柳田 由起子夫人～ありがとうございます。今年で47才です。体調と体重に注意して元気で

いたいと思います。

「ニコニコへ」

※福井 輝文君～結婚記念月を祝って。

「ニコニコへ」

※岩切 正司君～地区大会の参加ご苦労様でした。

「米山へ」

※藤堂 孝一君～16日のコンペで優勝しました。

2バーディーの87. ハンディキャップが18

つきラッキーでした。

「財団へ」

※垂水 敏雄君～

「米山へ」

※正岡 文郁君～急に寒くなりましたね、お互い

体調には充分気をつけましょう。

「米山へ」

## 委員会報告

○米山委員長 岩切 正司 君

本日は、ホームカミング制度についてお話させていただきます。

### ● ホームカミング制度とは？

海外で活躍する米山学友(元米山奨学生)を各地区が毎年1名選び、日本へ招待して、地区内のロータリアンへその活躍ぶりを披露していただく制度です。学友の来日にかかる費用は米山記念奨学会から補助されます(上限あり)。

地区が誇る学友を一人でも多く見出し、米山奨学事業の意義を広めるとともに、学友との絆を深める制度としてご活用ください。



詳細はこちら [http://www.rotary-yoneyama.or.jp/r\\_member/homecoming/img/hc\\_annai.pdf](http://www.rotary-yoneyama.or.jp/r_member/homecoming/img/hc_annai.pdf)

米山学友ホームカミング制度のご案内

### ● 応募条件 下記をすべて満たすこと。

- (1) 被推薦者は、海外に居住する米山学友で顕著な活躍が認められる者であること。
- (2) 学友を日本に里帰りさせることにより、多くのロータリアンに奨学生支援の成果と意義を伝えることができること。
- (3) 被推薦者が当制度への参加と協力に関して積極的であり、来日を希望すること。
- (4) 学友の里帰りが、個人的な交流に終わることのないよう、推薦クラブ(世話クラブ)や地区米山奨学委員会、ガバナー事務所が連携して、被推薦者の来日計画に関わること。
- (5) 学友の日本滞在期間は原則として最大7日間とし、滞在終了後は母国へ帰国すること。

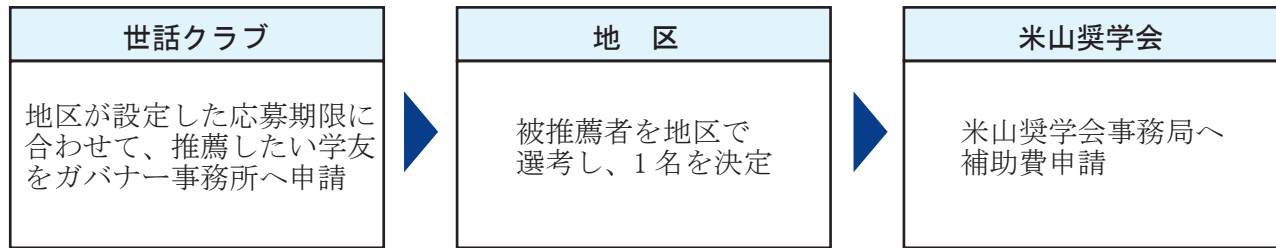
# SADOWARA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

## 委員会報告

～前頁の続き～

### ● 申し込み方法

原則として、世話クラブからガバナー事務所へ申請し、地区で審査をして該当者1名を決定します。



- ★選考は、ガバナーを中心に理事・地区米山奨学委員・関係役員などで行ってください。
- ★学友への連絡、調整、来日手配などは、世話クラブ・地区米山奨学委員会・ガバナー事務所が連携して行ってください。

補助費申請書類 (3 ページ)

[http://www.rotary-yoneyama.or.jp/r\\_member/homecoming/img/hc\\_hojyohi.pdf](http://www.rotary-yoneyama.or.jp/r_member/homecoming/img/hc_hojyohi.pdf)

地区から米山奨学会への提出書類です

### ● 応募期限

米山奨学会への補助費申請は随時受けつけますが、世話クラブからガバナー事務所への応募期限は地区によって異なります。

学友を招待したい行事 (地区大会、IMなど) の日程に合わせて、地区が自由に設定してください。

(スケジュール例) **ビザ取得に時間を要する必要があるため余裕あるスケジュールをたてる**

- 3～4月 地区内全クラブへ被推薦者の募集をする
- 4月末 被推薦者応募締め切り
- 5月 地区で選考、1名を決定
- 6月 米山記念奨学会への補助費申請  
ビザ申請手続きなど学友の来日手続き開始
- 12月 地区大会で、招待した米山学友にスピーチをしてもらう。

### ● 補助費

上限 25 万円 (1 地区につき年間 1 名)。

<内訳>

渡航費・国内交通費 : 上限 20 万円とし、実費精算

滞在費 (宿泊ホテル料金および食費) : 上限 5 万円とし、実費精算

申請にもとづいて米山奨学会からガバナー事務所指定専用口座へ送金します。学友の来日にかかる航空券・滞在費として活用してください。不足分は地区でご負担ください。また、精算後、余剰が発生した場合は、地区から米山奨学会事務局へ返金してください。

2008 年度実施分の補助費申請は、2008 年 7 月 1 日から 2009 年 6 月 30 日までです。

## 四つのテスト

「言行はこれに照らしてから」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

## 出席状況 第 1043 回

平成 20 年 10 月 22 日 (水)

会 員 数	24 名
(内免除 2 名)	
出 席 者 数	21 名
欠 席 者 数	3 名
出 席 率	95.0 %
メークアップ	0 名
修正出席率	95.0 %

## MEMO

例会中は携帯電話の電源を切るか  
マナーモードにしてください・・・